

日本製紙クレシア株式会社 京都工場にてオンサイト PPA サービスを開始
～山善との共同 PPA 事業「DayZpower」として最大規模の太陽光発電（4,057kW）設置～

2025年3月19日

Daigas エナジー株式会社

大阪ガス株式会社（社長：藤原正隆、本社：大阪市中央区）の100%子会社のDaigas エナジー株式会社（社長：福谷博善、本社：大阪市中央区、以下「Daigas エナジー」）は、株式会社山善（社長：岸田貢司、本社：大阪市西区、以下「山善」）と立ち上げた共同 PPA*事業「DayZpower（デイズパワー）」のサービス契約を日本製紙クレシア株式会社（社長：安永敦美、本社：東京都千代田区、以下「日本製紙クレシア」）と締結し、日本製紙クレシア 京都工場へのオンサイト PPA サービスを開始しました。



日本製紙クレシア株式会社 京都工場(京都府)

DayZpower は、Daigas エナジーと山善の共同 PPA 事業であり、山善が同社のお客さまや取引先を中心に提案を行い、Daigas エナジーは太陽光発電システムのエンジニアリングや維持管理等を行います。

両社は日本製紙クレシアの京都工場に 4,057kW の太陽光発電システムを設置し、発電した再生可能エネルギー100%の電気を 20 年間にわたり日本製紙クレシアに供給・販売する予定です。年間 CO2 排出削減量は約 1,853 トンを見込んでいます。このたび京都工場に設置する太陽光発電システムは、DayZpower として最大規模となります。

日本製紙クレシアでは、DayZpower の第 1 号案件として、2023 年 3 月に開成工場に 439kW の太陽光発電システムを設置したことを皮切りに、2024 年 9 月に興陽工場に 320kW、2024 年 12 月に東京工場に 320kW の太陽光発電システムを設置しています。

<日本製紙クレシア DayZpower 導入実績>

	京都工場(京都府)	開成工場(神奈川県)	興陽工場(静岡県)	東京工場(埼玉県)
発電開始時期	2025年3月	2023年3月	2024年9月	2024年12月
発電設備能力	4,057kW	439kW	320kW	320kW
発電量(年間)	約423万kWh	約50万kWh	約37万kWh	約38万kWh
CO2削減量(年間)	約1,853t-CO2	約197t-CO2	約162t-CO2	約168t-CO2

Daigasグループは、2025年2月に発表した「エネルギートランジション2050」のもと、脱炭素社会に貢献する技術・サービスの開発に取り組み、気候変動をはじめとする社会課題の解決に努め、暮らしとビジネスの“さらなる進化”のお役に立つ企業グループを目指してまいります。

※：「Power Purchase Agreement」の略で、発電者と電力消費者の間で締結する電力販売契約（太陽光発電 PPA モデル）